

Dexerials

デクセリアルズ株式会社

個人投資家向け会社説明会

2024年3月

東証プライム 4980

株価とEBITDA*の推移

2024年2月22日時点

中期経営計画2018
「変革と成長」

中期経営計画2023
「進化への挑戦」

24年2月22日
6,131円

19年3月末
734円

今中計期間の
株価リターン*

(19年3月末～24年2月22日)

株主
総利回り
(配当込)

+767.7%

*算出時の値は24年2月22日株価を使用

当社株価 (円)

EBITDA (億円)

131

FY15
実績

85

FY16
実績

116

FY17
実績

97

FY18
実績

108

FY19
実績

176

FY20
実績

325

FY21
実績

391

FY22
実績

386

FY23
見通し

*EBITDA=営業利益+営業費用として計上される減価償却費+のれん償却額

本日の内容

1

どんな会社？

2

持続的成長に向けた取り組み

本日の内容

1

どんな会社？

2

持続的成長に向けた取り組み

どんな会社？① こんなところにデクセリアルズ

オフィスや学校



例えば・・・

- ・ノートPC
- ・モニター
- ・プロジェクター
- ・サーバー

住まい



例えば・・・

- ・テレビ
- ・ノートPC
- ・コードレス掃除機や電動工具

街の中



例えば・・・

- ・スマートフォン
- ・タブレットPC
- ・自動車
- ・電動バイク

医療関係施設



例えば・・・

- ・人工呼吸器
- ・医療従事者向け防護具

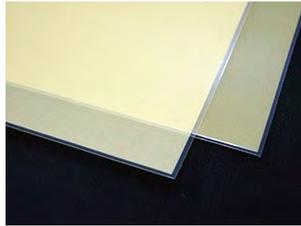
皆さんの身近な便利・安心・安全を支えています

どんな会社？ ② 電子部品、接合材料、光学材料などを開発・製造・販売

光学材料部品事業セグメント



反射防止フィルム



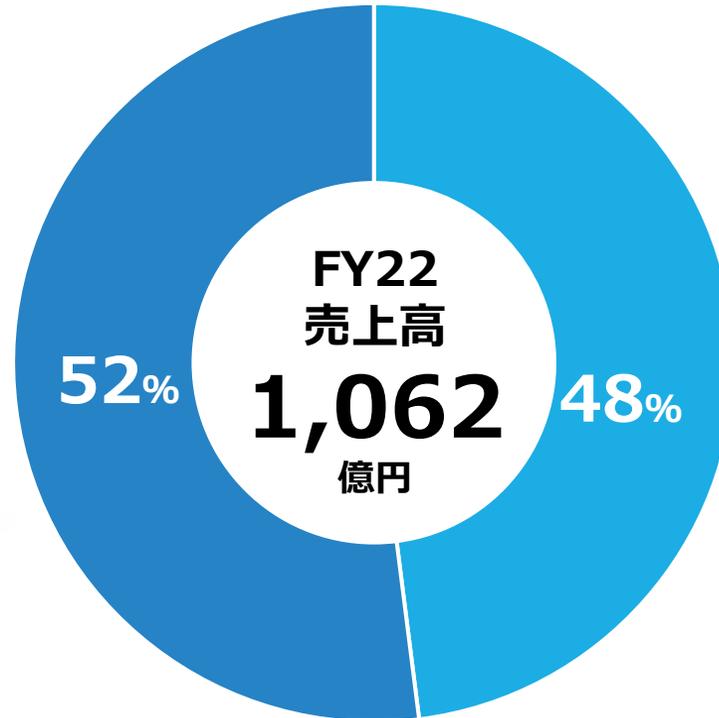
蛍光体フィルム



光学弾性樹脂
(SVR)



精密接合用樹脂



電子材料部品事業セグメント



接合関連材料



異方性導電膜
(ACF)



表面実装型ヒューズ



マイクロデバイス



光半導体

どんな会社？② 主力製品はニッチな市場で世界No.1

世界シェアトップの機能性材料が安定した成長の源泉



異方性導電膜
(ACF)

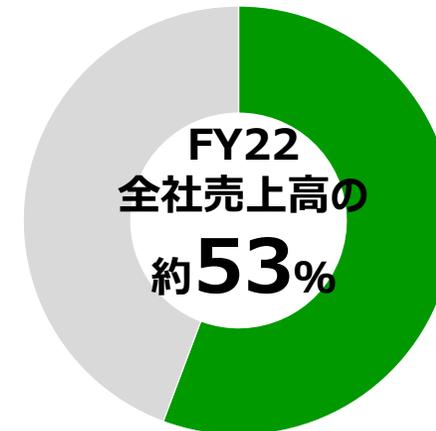


反射防止フィルム



光学弾性樹脂
(SVR)

主力3製品の売上高



※1: 株式会社富士キメラ総研発行「2023ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型および中小型ディスプレイ向けACFの合計の2022年の金額シェア。

※2: 株式会社富士キメラ総研発行「2023ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム（ドライコート）の2022年の金額シェア。

※3: 株式会社富士キメラ総研発行「2023ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで使用される光学透明接着剤（OCR/LOCA）の2022年の金額シェア。光学弾性樹脂（SVR）は、光学透明接着剤の当社製品名です。

どんな会社？ ② 世の中になくてはならない製品を提供

■ 例) 異方性導電膜 (ACF)



ディスプレイやセンサーなどで使われる電子材料
ICやモジュールと、基板の導電接続をするフィルム



画像を映し出すためには
ACFが欠かせません



ACFが
ないと...



どんな会社？② 会社概要

社名	デクセリアルズ株式会社
設立	2012年6月20日（前身のソニーケミカルは1962年設立）
本社	栃木県下野市（21年7月に移転）
事業内容	電子部品、接合材料、光学材料などの製造・販売
資本金	16,194百万円（2023年3月31日現在）
時価総額	3,746億円（2024年2月22日現在）
従業員数	1,943名（連結、2023年3月31日現在）
証券コード	4980 東証プライム市場（2015年7月上場）



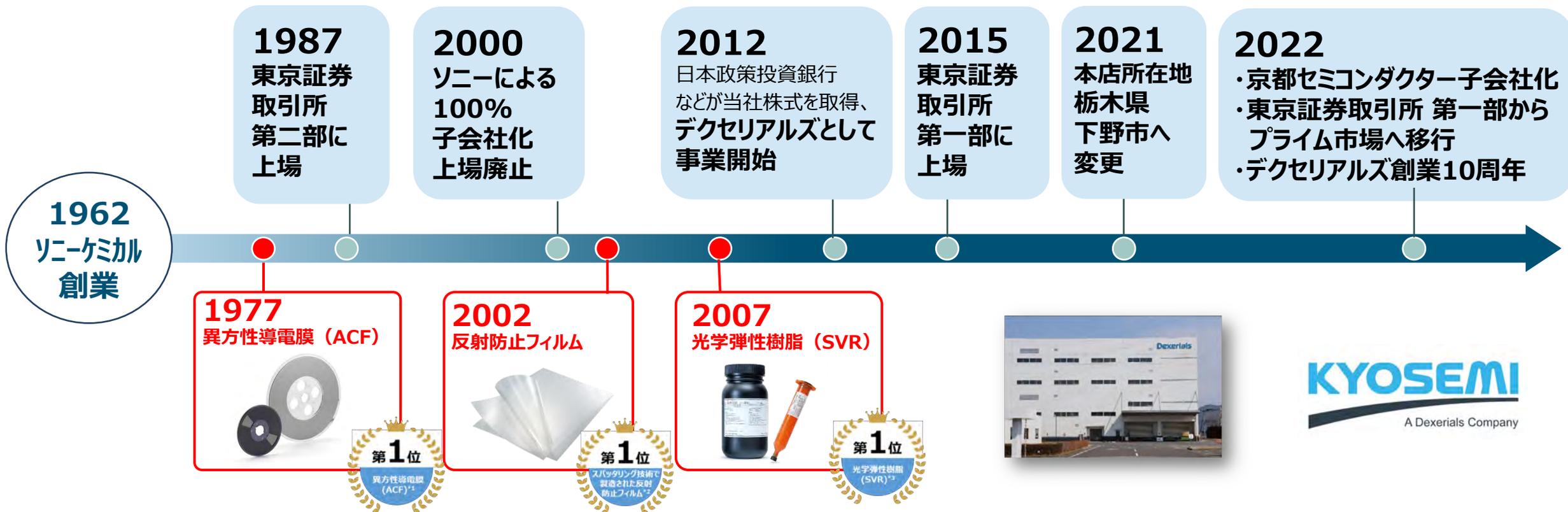
代表取締役社長 新家 由久



本社・栃木事業所

どんな会社？② 沿革

ソニーケミカルを前身として60年以上にわたり、
世界に新たな価値を提供

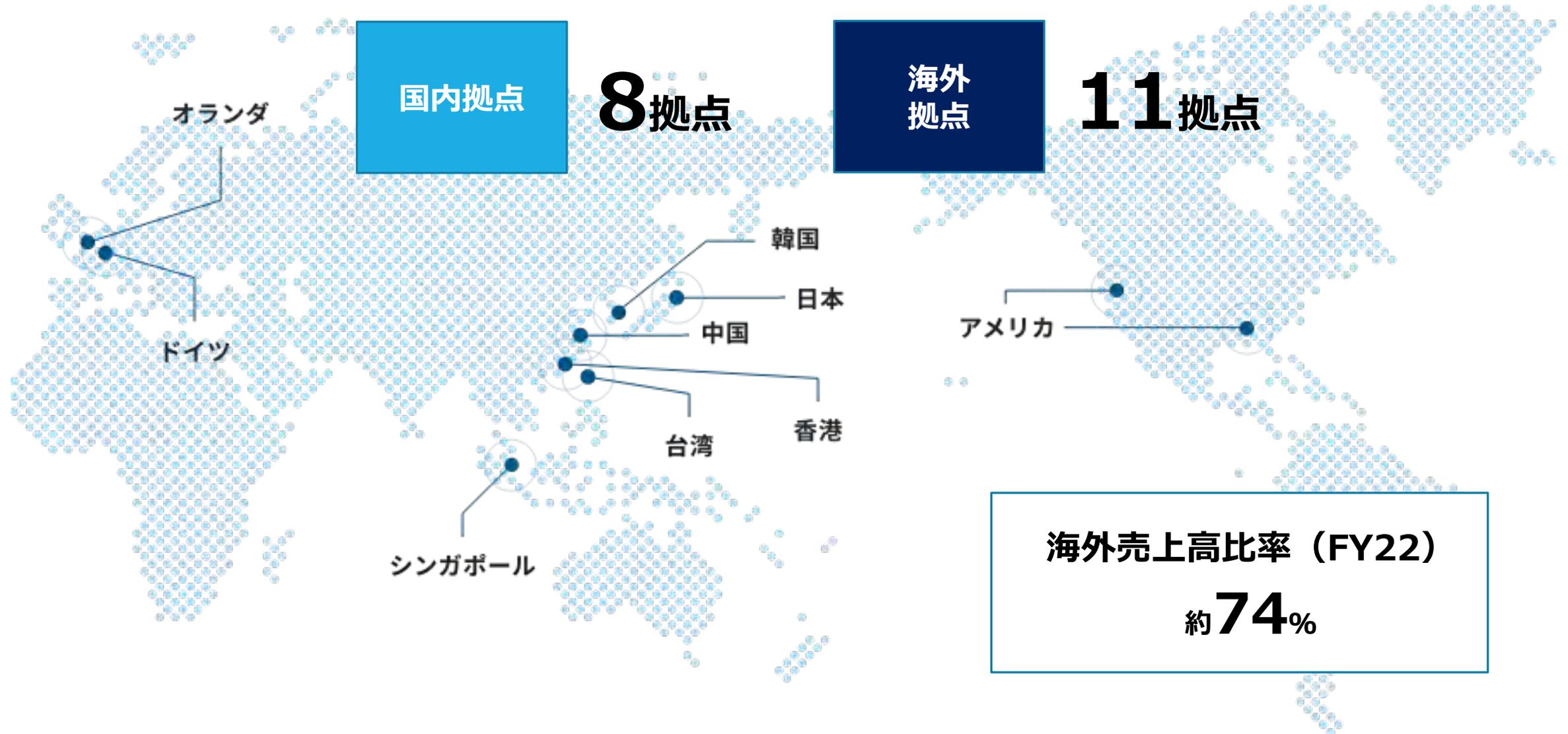


※1: 株式会社富士キメラ総研発行「2023ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型および中小型ディスプレイ向けACFの合計の2022年の金額シェア。

※2: 株式会社富士キメラ総研発行「2023ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム（ドライコート）の2022年の金額シェア。

※3: 株式会社富士キメラ総研発行「2023ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで使用される光学透明接着剤（OCR/LOCA）の2022年の金額シェア。
光学弾性樹脂（SVR）は、光学透明接着剤の当社製品名です。

どんな会社？② グローバルに事業を展開



どんな会社？ ③ 主力製品はニッチな市場で世界No.1

世界シェアトップの機能性材料が安定した成長の源泉



異方性導電膜
(ACF)

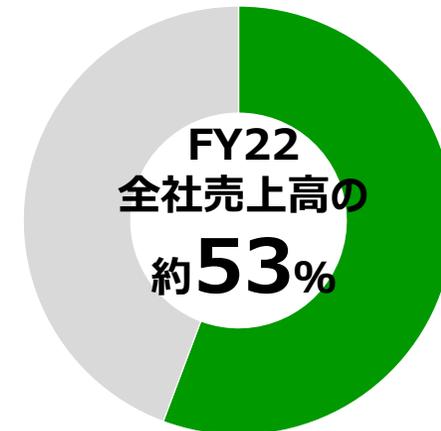


反射防止フィルム



光学弾性樹脂
(SVR)

主力3製品の売上高



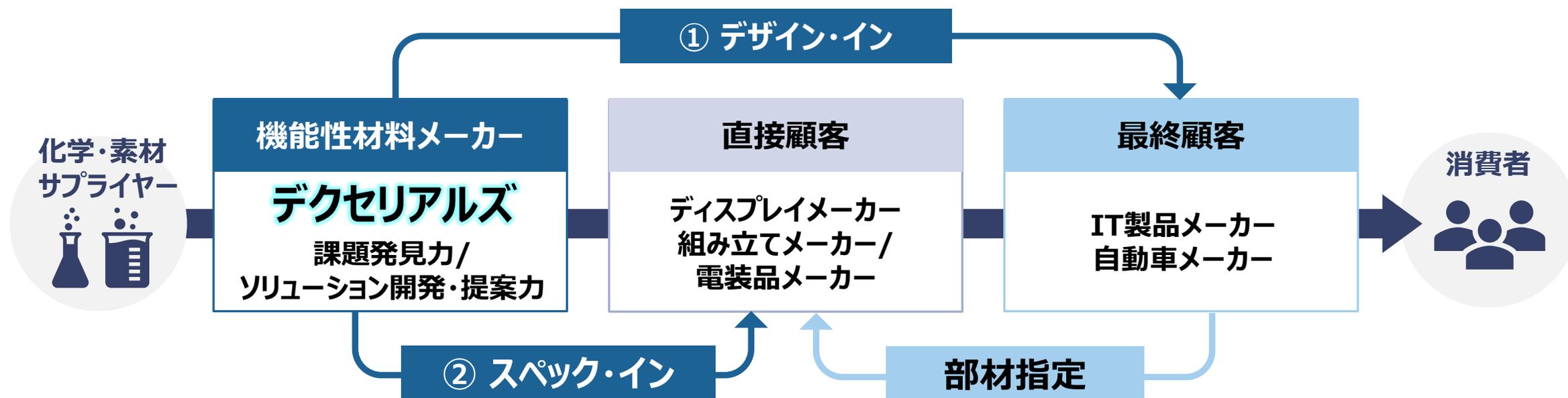
※1: 株式会社富士キメラ総研発行「2023ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、大型および中小型ディスプレイ向けACFの合計の2022年の金額シェア。

※2: 株式会社富士キメラ総研発行「2023ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、表面処理フィルム（ドライコート）の2022年の金額シェア。

※3: 株式会社富士キメラ総研発行「2023ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」による、ディスプレイの貼り合わせで使用される光学透明接着剤（OCR/LOCA）の2022年の金額シェア。光学弾性樹脂（SVR）は、光学透明接着剤の当社製品名です。

どんな会社？ ③ 得意技

お客さまの気づいていない技術的課題を発見し
ソリューションを開発・提案



① デザイン・イン (最適なソリューションの提案)

- お客さまが気づいていない技術的課題を発見し解決
- 最終製品の量産時に、当社製品を部材指定

② スペック・イン (量産化支援・製品カスタマイズ・改良)

- 自社製品をカスタマイズすることに加え、
工程改善まで支援することで、お客さまの理想のモノづくりを実現

本日の内容

1

どんな会社？

2

持続的成長に向けた取り組み

リソースシフトと企業体質の強化で課題克服&進化を実現

課題：モバイルIT製品市場および特定顧客依存、環境変化への対応力不足

基本方針 主要施策

①新規領域での事業成長加速

- 自動車向けに重点的にリソースを集中投下、新規領域の成長を牽引

②既存領域における事業の質的転換

- 差異化技術製品の拡大によるシェアアップ
- 選択と集中を継続的に実施し、効率化を徹底

③経営基盤の強化

- 企業体質の強化：事業のスピードアップ、選択と集中、社員の意識・行動改革
- サステナビリティへの取り組み

進化：領域ポートフォリオ転換、新規領域での社会課題解決を通じた持続的成長

2019-2023年度 中期経営計画「進化への挑戦」

<進化のプロセス>
前倒し

FY19-23「進化への挑戦」

社会課題の解決を通じて
持続的に成長

基本方針

①新規領域での事業成長加速

②既存領域における事業の質的転換

③経営基盤の強化

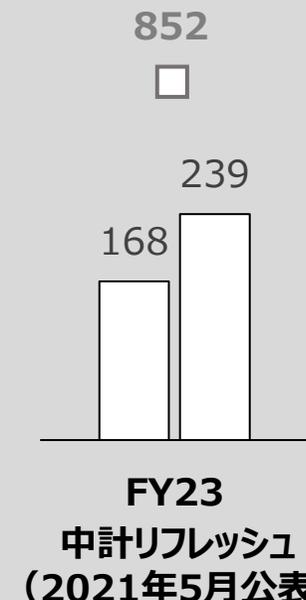
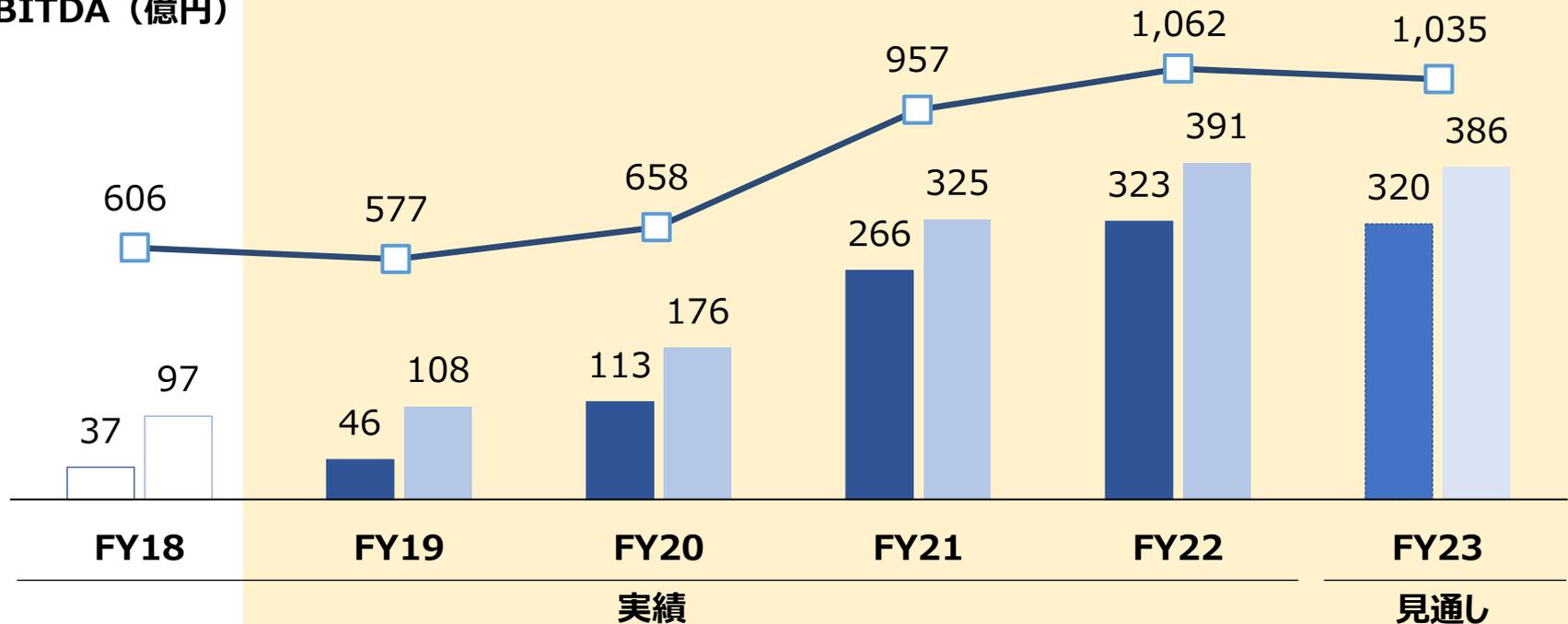
位置づけ

成長戦略と企業変革の実現で
持続的成長と企業価値向上の礎を築く

本中計での成長実現

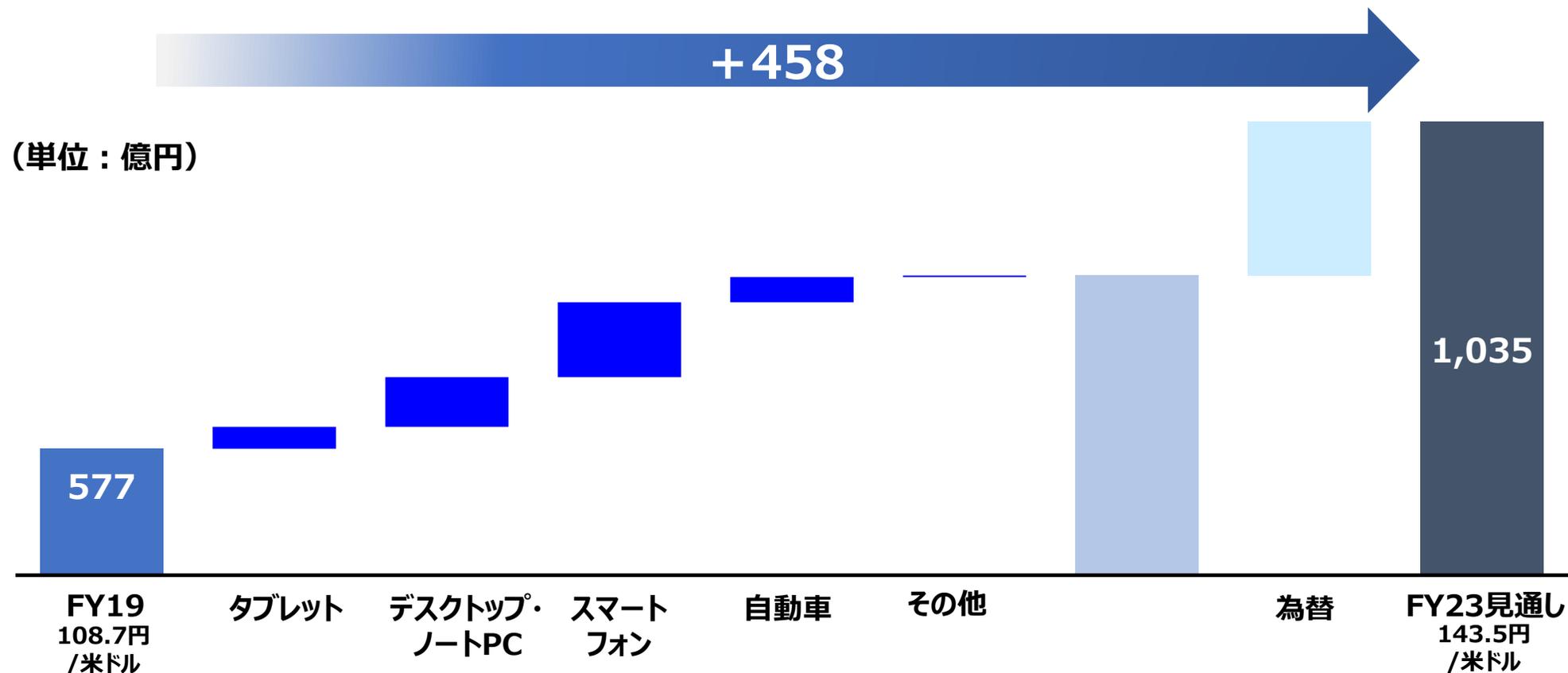
次の成長に向けた準備

□ 売上高 (億円)
■ 営業利益 (億円)
■ EBITDA (億円)



中計期間のアプリケーション別売上高の変化

アプリケーションの市場動向に左右されずに成長



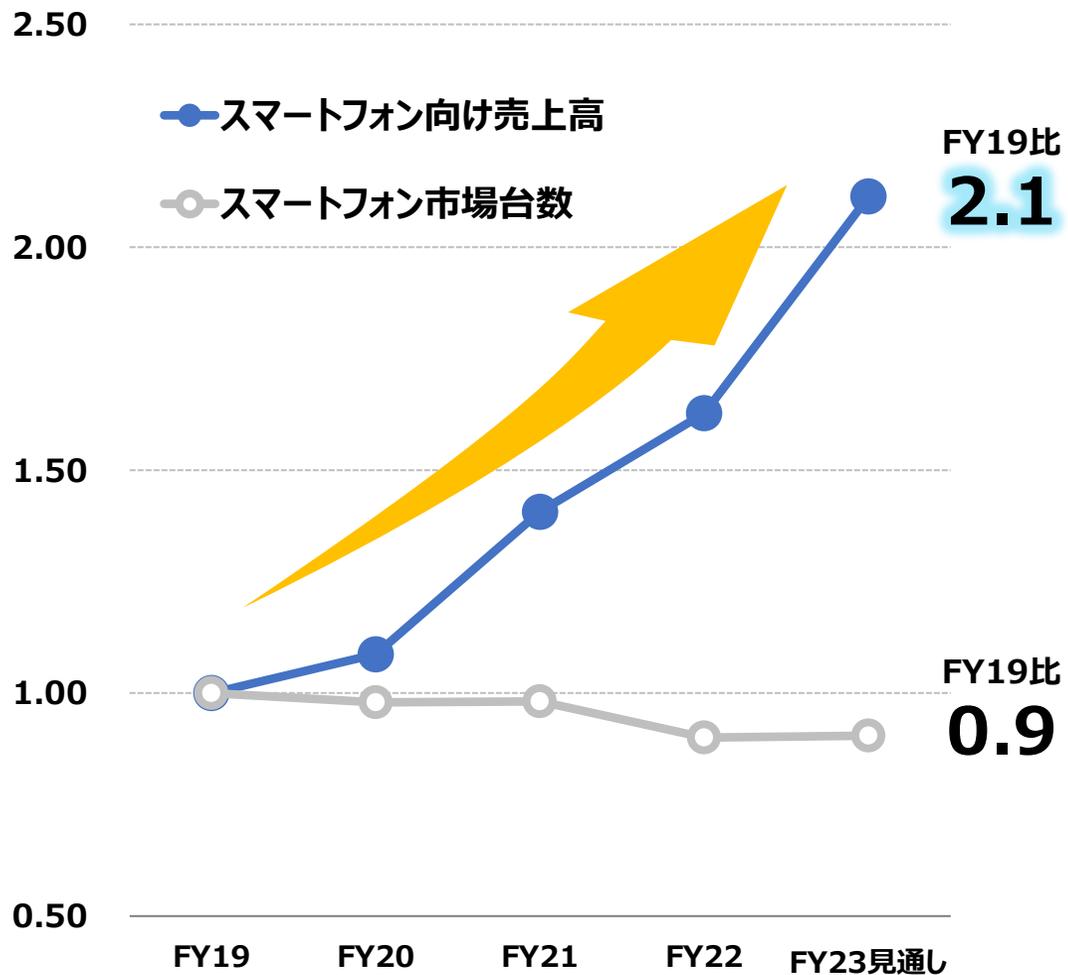
FY19-23 市場動向
増減イメージ



市場の成長を上回る事業成長

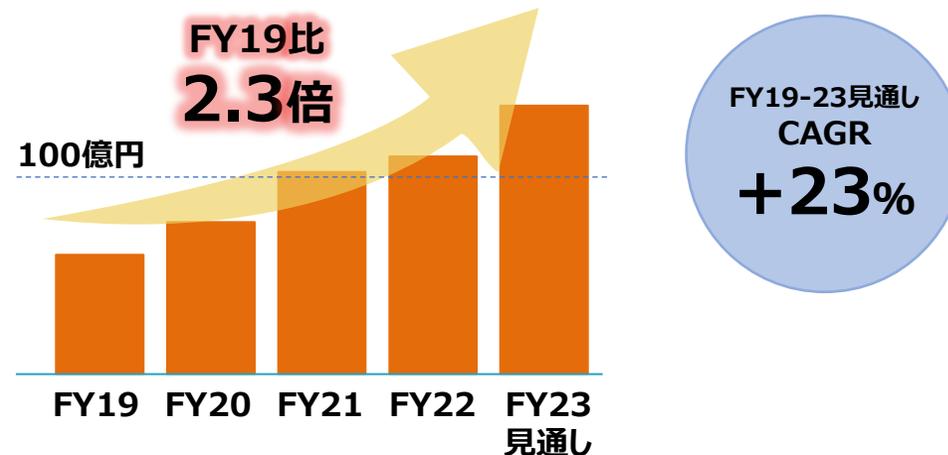
—市場環境に左右されず成長できる事業体質へ—

◆スマートフォン向け売上高 vs スマートフォン市場規模 (FY19=1)

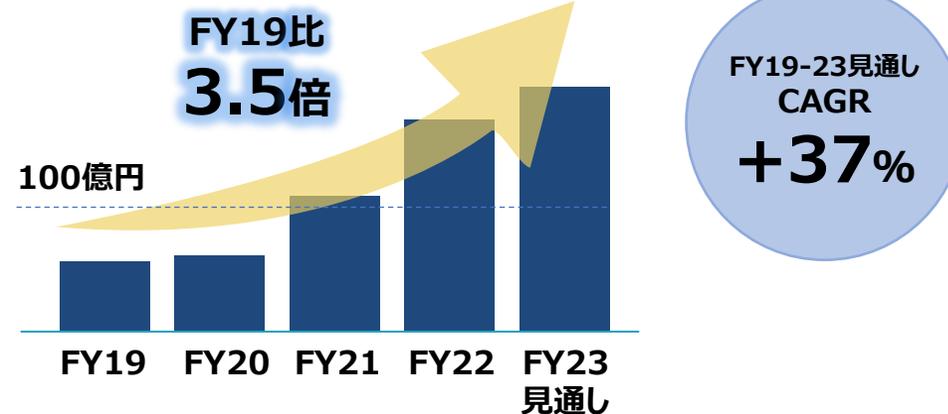


※スマートフォン向け売上高は円ベース

【粒子整列型ACF 売上高】



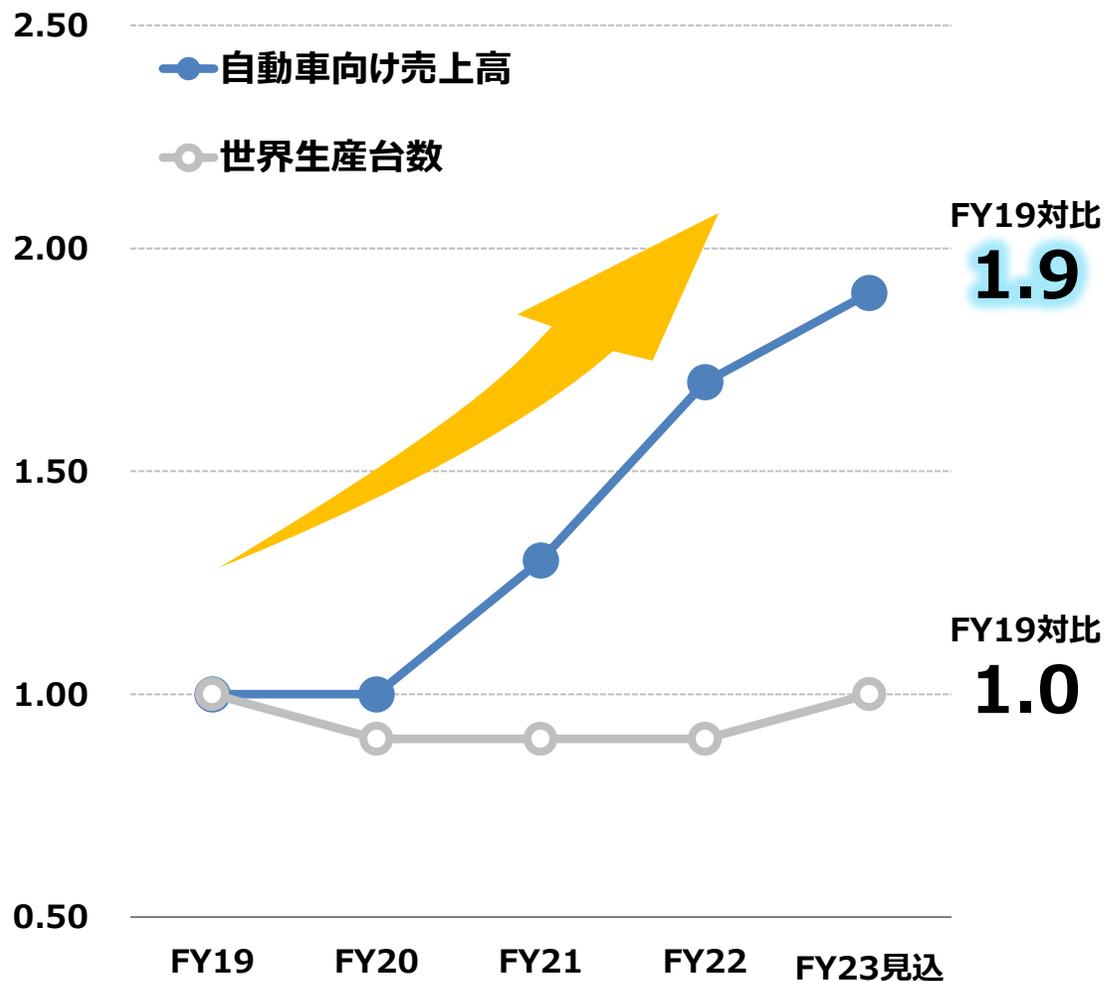
【センサーモジュール関連 売上高】



市場の成長を上回る事業成長

—市場環境に左右されず成長できる事業体質へ—

◆自動車領域売上高vs自動車市場規模 (FY19 = 1)



※自動車向け売上高は円ベース

【車載向け反射防止フィルム (ARF) 売上高】

車載ディスプレイの
枚数増加
大画面化
採用増加

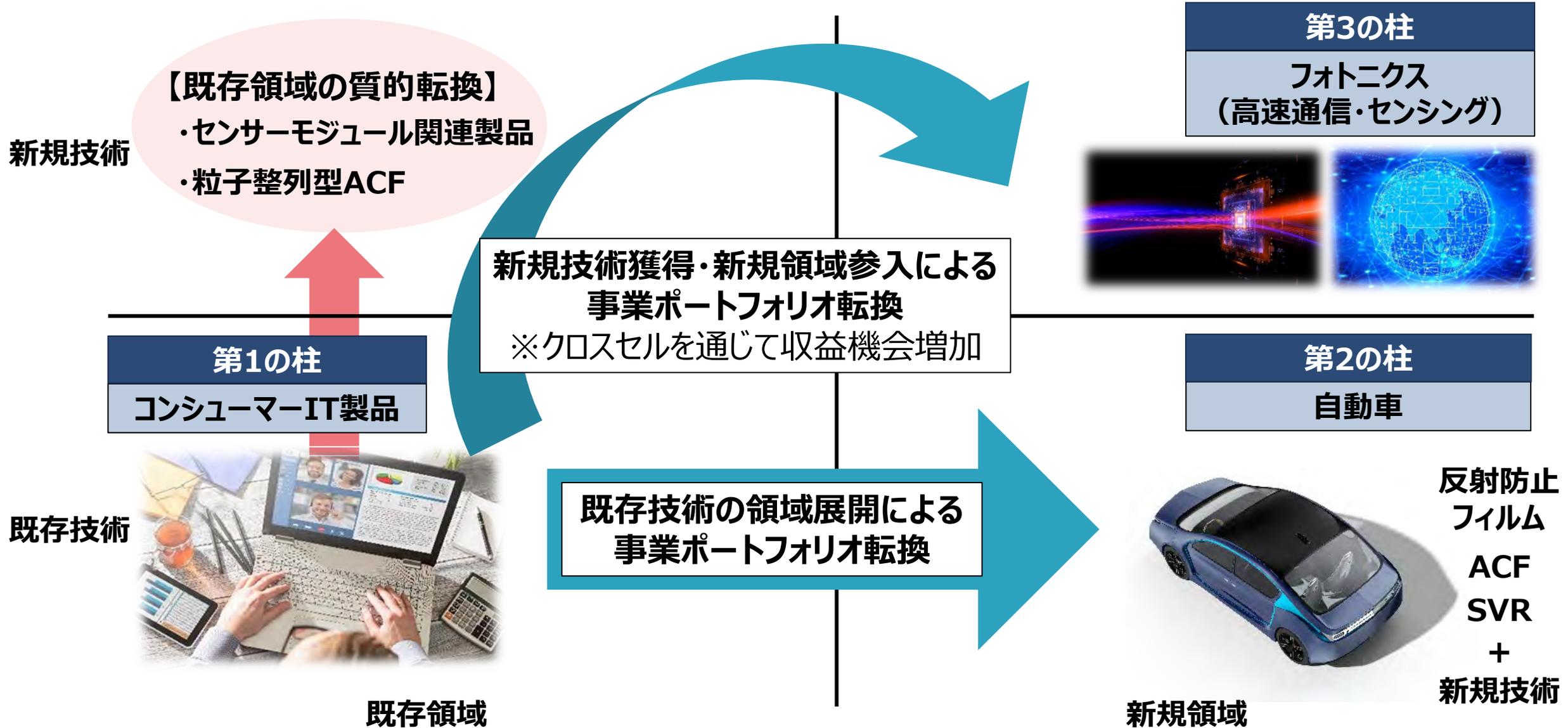
3.8倍

50億円

FY19-23見通し
CAGR
+40%

FY 19 FY 20 FY 21 FY 22 FY 23見込

フォトニクス領域を第3の柱として事業成長、ポートフォリオ転換を加速

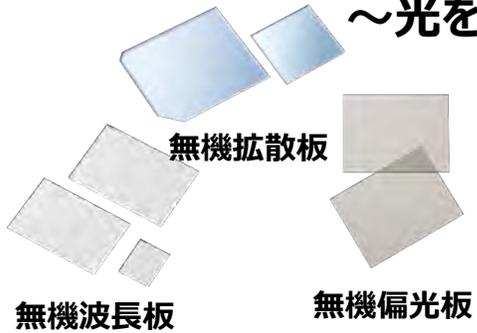


フォトニクス領域の成長をリードする統合会社

一次期中期経営計画の成長の核として

■ Dexerials Precision Components(株)

～光をコントロールする技術～



光学設計

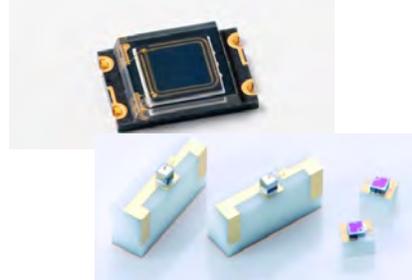
微細加工

ウェハープロセス

■ (株)京都セミコンダクター

～光半導体技術～

光センシング用デバイス



化合物半導体

デバイス設計

ウェハープロセス



フォトニクス領域の
技術を掛け合わせ
独自のソリューション創出可能

製造技術の高い親和性

事業・リソースを統合

事業・リソースを統合

フォトニクス統合会社
2024年4月1日発足

強力なバックアップ、クロスセルなどの連携

Dexerials

鹿沼第2工場の隣接地に用地を取得

—製品と製造の進化のための成長投資—

ACFの増産を含めた将来の事業拡大

- ・スマホ・自動車等のディスプレイ向け需要拡大に対応
- ・ACFの更なる高密度化など、技術の進化を促進

スマートファクトリー化、サステナブルな工場を目指す

- ・IoTやビッグデータ、AI、ロボット技術を活用
- ・年間一次エネルギー収支をゼロに（Zero Emission Building）
- ・BCPを意識したコージェネレーションシステム導入

総投資額：300億円



鹿沼第2工場（現在）

【取得予定の用地概要】

所在地	栃木県鹿沼市深津
敷地面積	71,000㎡
工事着手時期	2024年3月予定
稼働開始時期	2026年度中

戦略的パートナーシップの形成

株式会社レスターホールディングス（レスターHD）と販売・マーケティング領域における戦略的パートナーシップを形成

協業を通じて両社の持続的な成長を目指す

- ✓ 高付加価値製品をレスターHDの強力なネットワークを通じて販売
- ✓ アジア地域での高効率な販売オペレーションの運営体制を構築

協業による当社へのメリット

- ✓ 車載・光半導体ビジネスの成長加速に必要な販路確保
- ✓ アジアではマーケティング・営業に特化しデザイン・インを強化
- ✓ 販売機能は本社集約とJV協業で効率運営
- ✓ 為替感応度を低減 ✓ 資金効率の向上



Dexerials

【会社概要】

社名	株式会社レスターホールディングス
所在地	東京都港区港南
設立	2009年10月1日
事業内容	グループの経営戦略策定、事業間シナジーの創出、及びグループ各社の経営管理、業務支援
資本金	4,383百万円（2023年3月31日現在）
売上高	4,871億円（2023年3月期実績、連結）
拠点	日本、アメリカ、ドイツ、中国、台湾、韓国、タイ、シンガポール、ベトナム

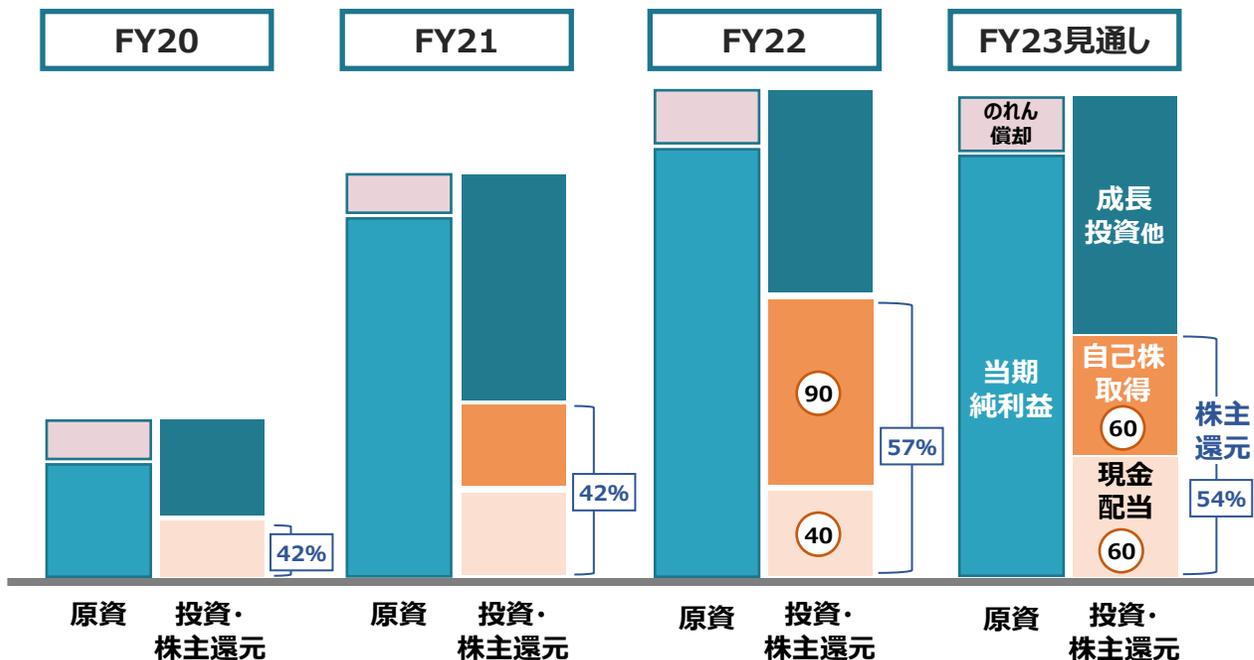
FY23 連結業績見通し：上方修正

2024年2月5日公表

(単位：百万円)	FY22	FY23見通し		
	135.5円/米ドル	11月見通し 138.0円/米ドル	143.5円/米ドル	
				前期比増減
売上高	106,167	100,000	103,500	-2.5%
営業利益	32,288	25,000	32,000	-0.9%
経常利益	30,174	26,300	28,000	-7.2%
当期純利益	20,685	18,000	20,000	-3.3%
1株当たり当期純利益	350.62円	305.09円	338.99円	-3.3%
(参考)のれん償却前	389.32円	344.08円	377.98円	-2.9%
1株当たり配当額	65.0円	75.0円	100.0円	-
自己株式取得総額	8,999	-	6,000	-
総還元性向(のれん償却前)	56.6%	-	53.6%	-
EBITDA	39,101	31,900	38,600	-1.3%
ROIC	24.4%	16.7%	21.2%	-3.2%Pt
ROE	30.3%	23.1%	25.8%	-4.5%Pt
(参考)のれん償却前	33.6%	26.1%	28.7%	-4.9%Pt

(注) 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益に読み替え
 EBITDA=営業利益+営業費用として計上される減価償却費+のれん償却額
 ROIC=(営業利益×(1-実効税率))÷(自己資本+有利子負債)×100
 ROE=親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本×100
 総還元性向(のれん償却前)=(配当支払総額+自社株買い総額)÷(当期純利益+のれん償却額)×100

成長投資と株主還元の両立



手元現金の残高と来期以降の成長投資を踏まえ
前期と同水準の株主還元を実施

◆ 現金配当

増配

- ✓ 自己株取得と現金配当のバランスを見直し
- ✓ 期末配当を40円から65円に増額（年間100円）

◆ 自己株式の取得&消却

- ✓ 取得総額上限：60億円（上限）
- ✓ 取得期間：2024年2月6日～3月19日
- ✓ 取得する全株式を3月27日に消却予定

のれん償却前EPS	117.16円	304.08円	389.32円	377.98円
配当性向	50.3%	21.8%	18.5%	29.5%
総還元性向 (のれん償却前)	42.2%	42.3%	56.6%	53.6%
自己資本比率	56.0%	50.0%	57.7%	60.8%

(注) 当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益に読み替え
配当性向はのれん償却後EPSを使用
株主還元方針：総還元性向でのれん償却前の親会社株主に帰属する連結当期純利益の40%を目途に利益還元

外部評価の向上

「日経半導体株指数」

NEW

2024年2月
構成銘柄に選定

株式会社日本経済新聞社が開発した時価総額の大きい半導体関連銘柄30社で構成される株価指数

「JPX日経インデックス400」

2023年8月
構成銘柄に2年連続で選定



株式会社JPX総研および株式会社日本経済新聞社が共同で算出するインデックス

「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」

2023年12月
構成銘柄に連続選定



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

英国FTSE Russell 社が提供するグローバル基準を満たす日本企業を対象としたESG投資株価指数

「SOMPOサステナビリティ・インデックス」

2023年6月
構成銘柄に5年連続で選定



SOMPOアセットマネジメント株式会社が
独自に設定するアクティブ・インデックス

「MSCI*日本株女性活躍指数（WIN）」

2023年12月
構成銘柄に連続選定

2023 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」

2023年3月
3年連続で認定



*デクセリアルズがMSCIインデックスに採用されていること、及びMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、

MSCIまたはその関連会社によるデクセリアルズへの後援、保証、販促には該当しません。

MSCIインデックスはMSCIに独占権があり、MSCI、MSCIインデックス名及びロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

もっとよく知る デクセリアルズ①

トップ
ページ



投資家
情報



「個人投資家のみなさまへ」
随時更新中

Dexerials



デクセリアルズ ホームページ

<https://www.dexerials.jp/>

製品紹介やサステナビリティの取り組みなど
当社ホームページでご紹介しております



もっとよく知る デクセリアルズ②

統合
報告書

統合報告書を発行



デクセリアルズ統合レポート 2023

<https://www.dexerials.jp/csr/download/>

TECH
TIMES

当社の技術や製品をわかりやすくご紹介



TECH TIMES

<https://techtimes.dexerials.jp/>



持続可能な成長を続ける企業へ

新たな成長ステージに向けて

～パーパスを基軸とした
サステナビリティ経営に向けたストーリーの構築～

代表取締役社長

新家由久

2023年度、デクセリアルズは中期経営計画 2023「進化への挑戦」の最終年度を迎えています。

2019年度からの4年間で、変化に強く特定の領域に依存しない体質へと進化すべく、「稼ぐ力」の向上や経営基盤強化を図り、業績面での目標数値は前倒しで達成してきました。

次期中期経営計画では、より高い視座をもち、パーパスを基軸とした、経済的価値と社会的価値の両立によって持続的成長と企業価値の向上を目指すという、サステナビリティ経営に向けたストーリー構築を進めています。



社会課題解決のためのデジタルテクノロジーの進化に不可欠な
製品や技術、ソリューションを通して社会に貢献
持続的に成長する企業を目指す



デクセリアルズ統合レポート2023 P.12

https://ssl4.eir-parts.net/doc/4980/ir_material_for_fiscal_ym3/145013/00.pdf

Value Matters

今までなかったものを。世界の価値になるものを。

